

## 校長室から (NO. 40)

### 主体的であること



放課後、本校 M 教諭が、うれしそうにあるエピソードを話していました。

現在「体育フェスタ」の演目であるリズムダンスを全校で取り組んでいます。踊りも随分板に付いてはきたものの、まだまだ一体感のある踊りには至っていないような頃でした。

その日の練習を終えた昼休み、6年生男児が、今回ダンスの指導を担当している M 教諭の側に来て、「先生、エンディングは、全員でかけ声を出して終わればもっとよくなるんじゃないですか」と提案してくれたそうです。

日頃口数の多くない児童が、どうしても伝えたい、自分たちのダンスをもっとよくしたい、そのためにこうしたらどうだろうと、自ら判断し行動に表してくれたのです。M 教諭は、「これが『主体的』という姿かもしれないですね」と振り返り、この児童を周囲の先生たちと共に賞賛していたというわけです。

私もそれを聞いて、たいへんうれしく思いました。それと同時に、指導に当たっている先生たちの熱意が、児童の主体性を引き出したのだと確信しました。

今年度の体育フェスタの鍵は「全校が一つとなって」、そして、ダンス曲の「ハピネス」の歌詞のように、笑顔をお子たちに届けようというのが、私たちの願いです。その思いが、じわじわとお子たちに伝わっているのだと感じました。

ちなみに、  
今年度の本校の重点目標は、  
「主体的に 粘り強く取り組む子供の育成」です。

